

# 地区防災計画をつくりましょう！

平成7年の阪神・淡路大震災では、倒壊家屋の下から救出された方のうち、消防や警察などの公的機関によって救出されたのは約2割で、約8割は近隣住民の方によって救出されました。また、平成23年の東日本大震災では、地震・津波によって市町村の行政自身が被害を受けたことから、地域住民による避難活動や避難所運営等の互助・共助の事例が見られました。

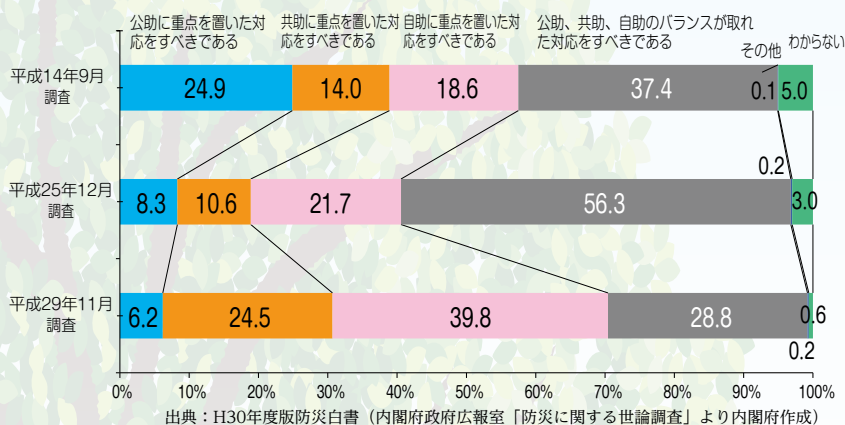
これらの経験から、自助、互助・共助、公助に関する意識も変わってきました。

平成27年関東・東北豪雨や令和元年台風第19号では、本県においても、浸水により孤立したり、逃げ遅れて被災した方もいます。このため県では、自助と互助・共助による住民が主体となった地域防災力の強化に向けて、地区防災計画の策定を支援しています。



令和元年台風第19号による秋山川（佐野市）の被害状況  
【栃木県県土整備部提供】

## 自助、共助、公助の対応に関する意識



## 参考「自助、互助・共助、公助」とは



## 参考事例

昨今の災害において、地区防災計画を作成していたことで、発災時に的確な避難ができ、多くの命が救われたという事例が見受けられました。

→平成27（2015）年に地区防災計画を作成した愛媛県大洲市三善地区では、平成30（2018）年の西日本豪雨で浸水被害が多くあったものの、一人の犠牲者も出ませんでした。

## 災害に備えて、地区のみなさんで話し合って、「地区防災計画」を作成しましょう！

### 地区防災計画策定のメリット

#### ①災害による被害の軽減や迅速な対応

地区のルールを自ら決めて共有するとともに、実践的な訓練等を実施することで、自助・共助の意識が高まり、災害による被害の軽減や迅速な復旧・復興につながります。

#### ②地域コミュニティの維持・活性化

住民参加型の取組プロセスを通じて、地域コミュニティにおける良好な関係づくり、地区の実情に応じたきめ細かい“まちづくり”にも寄与することが期待されます。



### 地区防災計画の特徴

#### ①地域コミュニティ主体のボトムアップ型の計画

地区防災計画は、地区居住者等により自発的に行われる防災活動に関する計画であり、地域コミュニティが主体となったボトムアップ型の計画です。

#### ②地区の特性に応じた計画

地区防災計画は、計画の策定主体や防災活動の主体、地区の範囲、計画の内容など、各地区の特性や想定される災害等に応じて自由に策定できます。

#### ③継続的に地域防災力を向上させる計画

地区防災計画を策定した後も、日頃から地区居住者等が力を合わせて計画に基づいた防災活動を実践し、必要に応じて評価や見直しを行うなど、防災活動を継続していくことが重要です。

## 地区防災計画のつくりかた（一例）

### STEP1

#### 事前準備

基本的な取り組み体制を整える  
（誰が進めていくか、アドバイザーは？）  
計画づくりに向けた気運を高める  
《防災講演会、市役所・町役場との連携》

組織単位は、できるだけ既存組織（自主防災組織、自治会・町内会、小学校区、マンション管理組合等）を活用すると有効です。

防災士、地域防災リーダーなど

### STEP2

#### 工程確認

リスクや課題を考える  
（身近なリスクを理解、地区の課題を共有）  
《まち歩き、防災マップづくり》

### STEP3

#### 骨子作成

課題と対策を検討し、計画骨子をまとめる  
計画骨子に基づく活動を展開する  
《防災訓練（ワークショップ（体験ゲーム）、避難訓練）》

DIG、HUG等

### STEP4

#### 計画素案作成

計画素案を作成し、対象地区全員で共有する

継続的に見直して、よりよい計画に練り上げていくことが重要です！

### STEP6

#### 計画の見直し

継続的に防災訓練やまち歩きを実施し、対象地区全員が実行可能な計画となるように随時見直し

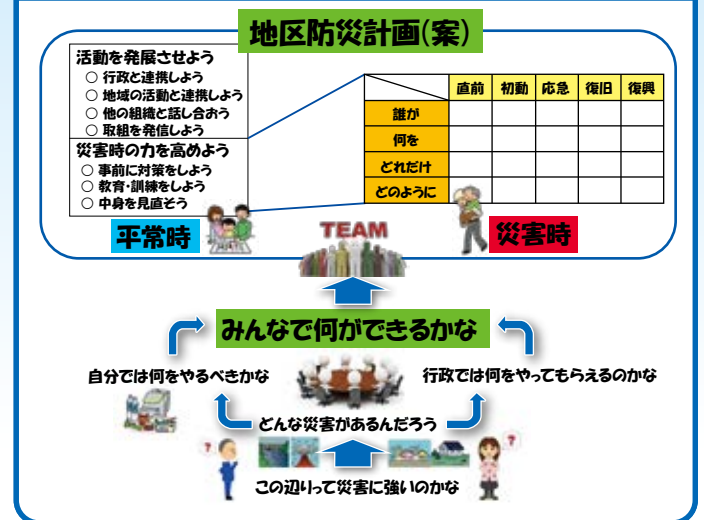
### STEP5

#### 地域防災計画へ

市町村防災会議に計画を提案（※）

※平成25年6月に災害対策基本法が改正され、地区居住者等による自発的な活動に関する計画が「地区防災計画」として位置づけられました。この制度では、地区居住者等が市町村防災会議に対し、地域防災計画に地区防災計画を定めることを提案することができる仕組み（計画提案）が設けられています。

## 地区防災計画のイメージ



## 体験ゲームで楽しく防災について考えましょう

### DIG（災害図上訓練）

地区に災害が発生したことを想定し、入手した情報を整理しながら、災害の状況、予測される危険等の情報を地図に記入していく。

### HUG（避難所運営ゲーム）

避難所に見立てた平面図に適切に避難者を配置できるか、トラブルにどう対応するかが模擬体験できる。

### クロスロード（カードゲーム）

災害時の切迫した状況下での判断や行動を二者択一で選択していく。

### 防災運動会

防災訓練をシミュレーションした運動会（担架リレー、バケツリレー、土嚢積みリレー、防災クイズ等）。



地区防災計画に関するお問い合わせ

栃木県県民生活部消防防災課 TEL 028-623-2127

HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/c02/tiiki-bousai/tiku-bousai.html>